

黒松

第72号

令和3年7月5日発行
柏崎刈羽地区保護司会
TEL(0257)23-8615
柏崎市豊町3-59
総合福祉センター内

犯罪に戻らない・戻さない

～立ち直りをみんなで支える明るい社会へ～

犯罪や非行のない明るい社会の建設を願って

番神夕照 撮影／保護司 佐藤俊男 (2021.5.9)

第71回 `社会を明るくする運動、` (内閣総理大臣メッセージより抜粋)

`社会を明るくする運動、`は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

新型コロナウイルスとの闘いが続く中で、望まない孤独や社会的孤立など私たちが直面する困難を克服していくためには、互いに支え合う人と人との絆や、他の人の苦しみにも我が事として救いの手をさしのべるコミュニティの存在が大切であると強く感じるところです。

国民の皆様には、本運動の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない明るい地域社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福の黄色い羽根」のもと、様々な分野から、若い世代を含め多くの方々が本運動に御参加いただきますよう御協力をお願いいたします。

内閣総理大臣

菅 義偉



会長就任にあたって

柏崎刈羽地区保護司会

会長 飯塚 秀夫

令和3年4月に柏崎刈羽地区保護司会会長に就任しました飯塚秀夫です。日頃皆様には、柏崎刈羽地区の更生保護活動にご理解とご協力をいただいていることに大変感謝をしております。

現在、当地区の保護司は44名で、更生保護活動を行っています。

保護司の役割としては、刑務所、少年院等の矯正施設から出所して、保護観察処分を受けた人たちの社会復帰のために面接等を行い、その人たちに寄り添いながら、更生の道を歩んでいただきたいと思ひ、手助けの一翼を担う活動をしています。この活動には大変辛抱強さが必要で、大変苦労されている保護司もいます。

また、今年「社会を明るくする運動」が71周年を迎えます。その一環として「再犯防止」活動に力を注い

ていきます。

保護観察を受けた人の再犯率が高く、いかに低くするかということに力をいれていかななくてはなりません。そして犯罪や非行の防止や安全・安心な社会にするために、少しでもお役に立てればと思っております。

更に当保護司会には「更生保護サポートセンター」があり、各団体、機関との連携を図る場になっていきます。

今年も昨年に引き続き「新型コロナウイルス感染症」が未だに終息の目途がたつておらず、保護司の活動に中止・延期があり活動の妨げになるかもしれません、精一杯努力していく所存です。

今後とも皆様から引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「愛の協力会員」募集のお願い

柏崎刈羽地区保護司会

副会長 田村 秀一

犯罪や非行を防止し、起こした人の立ち直りを支えるための更生保護の活動は、世界各国で行われている奉仕活動で、日本の活動は世界のお手本の一つとなっています。

市民の皆様方にも、最近、少しずつこの保護司の活動について理解をいただき、地域でのご協力もいただき感謝しています。

新潟県内の昨年度の刑法犯数は、8561件（前年に比べ2182件減少）で、この数値は、18年連続減少傾向の中にあります。

また、我が国全体の刑法犯罪件数も、他の先進国に比べて低く、これもひとえに皆様方のご理解やご協力の賜物と感謝しております。

しかし、重要犯罪や特殊詐欺等もなくなりならず、まだまだ予断を許さない現状でもあります。

柏崎刈羽地区保護司会でも県の保護観察所と連携しながら、安全で安心して暮らせる地域社会創造のため、継続的に取り組んでまいりました。

つきましては、「愛の募金」へのご協力をお願いいたします。皆様から頂いたこの浄財は、保護司会の活動のために有効に使わせていただいております。

7月に入りましたら各町内会長さんを通して、募金協力へのお願いにまいりたいと考えています。ご協力をよろしくお願ひいたします。



愛の協力運動会費会計報告

ご協力ありがとうございました

令和2年度皆様からお寄せいただいた「愛の協力運動」新潟県保護観察協会会員募集による会費は、県全体では **71,546,670円**で、次のような事業に使わせていただきました。

内訳

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| 1 “社会を明るくする運動”をはじめ通年の犯罪・非行防止、社会浄化活動費 | 35,430,867円 |
| 2 更生保護施設への助成及び保護観察を受けている者への更生援助金 | 2,100,050円 |
| 3 研修・研究・矯正施設等視察諸経費 | 5,395,053円 |
| 4 関係機関・団体との連絡調整費 | 1,946,968円 |
| 5 更生保護協力団体(更生保護女性会、BBS会、健全育成団体等)への助成費 | 10,459,253円 |
| 6 運動諸経費(趣意書作成費、郵送費、連絡費、人件費等) | 16,214,479円 |
| 7 会員数 | 335,574世帯 |

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第71回 社会を明るくする運動



7月は“社会を明るくする運動”強調月間・再犯防止啓発月間です。

◎主催

「社会を明るくする運動」

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

新潟県推進委員会

法務省・新潟保護観察所

◎応募規定

(1) 応募資格

小学生及び中学生

(2) テーマ

「社会を明るくする運動」の趣旨を踏まえ、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことをもとに、犯罪・非行のない地域づくりや犯罪や非行をした人の立ち直りについて考えたこと、感じたことを題材としたものとします。

(3) 原稿の枚数

400字詰め原稿用紙3〜5枚程度

(4) 応募先、締切り

「社会を明るくする運動」

柏崎・刈羽地区保護司会事務局

柏崎市豊町3-59

令和3年度「社会を明るくする運動」 作文コンテスト実施要綱(抜粋)

柏崎市総合福祉センター内

(☎23-8615)

締切り 令和3年9月6日(月)

◎表彰

次の各賞について決定し、それぞれ表彰を行います。

●柏崎市

○最優秀賞

柏崎市推進委員会委員長賞

○優秀賞

柏崎刈羽地区保護司会長賞

柏崎刈羽更生保護女性会長賞

●新潟県

○最優秀賞

新潟県推進委員会委員長賞

○優秀賞

新潟県保護観察所長賞

○特別賞

新潟県保護司連合会長賞

新潟県更生保護女性連盟会長賞

新潟県BBS連盟会長賞

○努力賞

新潟県推進委員会賞



スポーツの力でまちを元気に!!

新潟大会優勝までの道のり

新潟産業大学附属高校

野球部監督 吉野 公浩

この度、春の北信越高校野球新潟大会において、柏崎に53年ぶりに優勝旗を持つことができました。

決勝戦は柏崎からたくさんの方が悠久山球場まで応援に来て下さり、誠にありがとうございました。

昨年は春の大会が中止になり、2年ぶりの開催となりましたが、大観衆の中



で野球ができたことに感謝しています。今大会は、夏の甲子園をかけて県予選のシード権獲得のかかる重要な大会でした。

夏の大会は第1シードとして臨むことになりませんが、チャレンジャー精神を忘れず、一戦必勝全力で挑みます。

今回の優勝までの道のりで、チームとして忘れてならない試合があります。それは昨年秋の大会で初戦敗退となった中越高校戦です。

先制点を取りながらも後半に二死から失点、2対3の1点差で敗れ、春のセンバツ甲子園への道が閉ざされました。

選手達は冬の間、この敗戦の悔しさを忘れずに、歯を食いしばって練習に打ち込んできました。その成果が今回の県大会優勝に繋がったのだと思います。



今冬は大雪にも負けず、ビニールハウスの練習場では頭から湯気が出るほどの気迫でバットを振り、校舎内の廊下と階段を走り込み、例年になくハードな冬季練習を行いました。

厳しい冬練を乗り越えたことで、心と体がひとまわり成長したと思います。

そして今年は昨年と違って3月から練習試合ができ、実戦経験を重ねて大会に入ることが出来ました。

とはいえ公式戦の緊張感は別物で、初戦は硬さのある選手が多くいましたが、試合を重ねることに落ち着いてプレイできるようになり、一球への執念、集中力が高まり、大会を通してチームが強くなっていたように感じます。

決勝の関根学園戦は1点リードで迎えた最終回一打同点の場面を守り抜き、優勝が決まりました。

スコアは3対2、昨秋敗れた時と同じです。今度は1点差を守り切って勝つことができました。

実力や技術ではなく、1点差で勝ち切る「強い意志と厳しさを乗り越えようとする忍耐力」が、この優勝を引き寄せたのだと思います。

今年のチームは3年生を中心に元気があり、主体的に動ける選手が揃っており、夏の大会も楽しみです。

野球への取り組みばかりでなく、部室や教室の整理・整頓にはげみ、また一方では生徒会役員を務めるなど、学校内の統一と融和を図る中心的な役割を担っています。それらがきっと部員のチームワークにもつながっているでしょう。

今回の結果を受け、たくさんの方から期待のお言葉をいただきました。

高校野球には地域を元気にする力があります。

コロナ禍で大変な状況が続いていますが、夏も全力疾走、全力プレイ、全力元気で、柏崎を熱狂させることができるよう頑張りますので、熱いご声援をお願いします。